

EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

第22回定例セミナー： 「J. ロックランに学ぶ 教師教育とセルフスタ ディ」の読書会を 開催しました



活動日時 2019年5月30日(木)

活動従事者 川口広美(社会認識教育学講座), 草原和博(社会認識教育学講座),
渡邊巧(初等カリキュラム開発講座), 岡村美由規(教育人間科学講座・博士課程後期)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター(EVRI)」は、2019年5月30日(木)に教育の専門家ユニットの教育学研究者クラスターと教師教育者クラスターの活動に関連させて、第22回定例セミナー「新しい教師教育実践研究を語り合おうー『J. ロックランに学ぶ教師教育とセルフスタディ：教師を教育する人のために』読書会ー」を開催しました。なお、この読書会は本著の分担翻訳を行った本学の4名の先生及び院生の方によって企画されました。

趣旨説明と読書会の進め方について川口先生より説明があった後に、読書会を開始しました。まずは、全員で「序：本書を読み進める前に」を読み込み、グループ内で成果を発表しあい、教師教育において実践知がいかに重要であるかという問

題意識を共有しました。その後、第1章「教えることを教えるとは」と第4章「教師教育者になる」について、担当する節をペア毎に分け要旨をまとめました。そして、各章毎にペア毎に成果を発表し、章全体の趣旨を共有した上でディスカッションをしながらロックランの主張を読み解きました。具体的には、「教えること」と「教えることを教えること」の違い、教師教育者の専門性はいかにして成長するか、効果的なセルフスタディのあり方などについて活発に意見を交わしました。

最後のまとめとして、草原先生はこの読書会を皮切りに、広島大学がセルフスタディ研究・実践の拠点となることを期待しているとの想いを述べられ、白熱した議論がいつまでも続きそうだった本読書会は終了しました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

